

日比谷自動車駐車場は、 おかげさまで 60周年を迎えました。

平素は、日比谷自動車駐車場をご利用いただき、誠にありがとうございます。

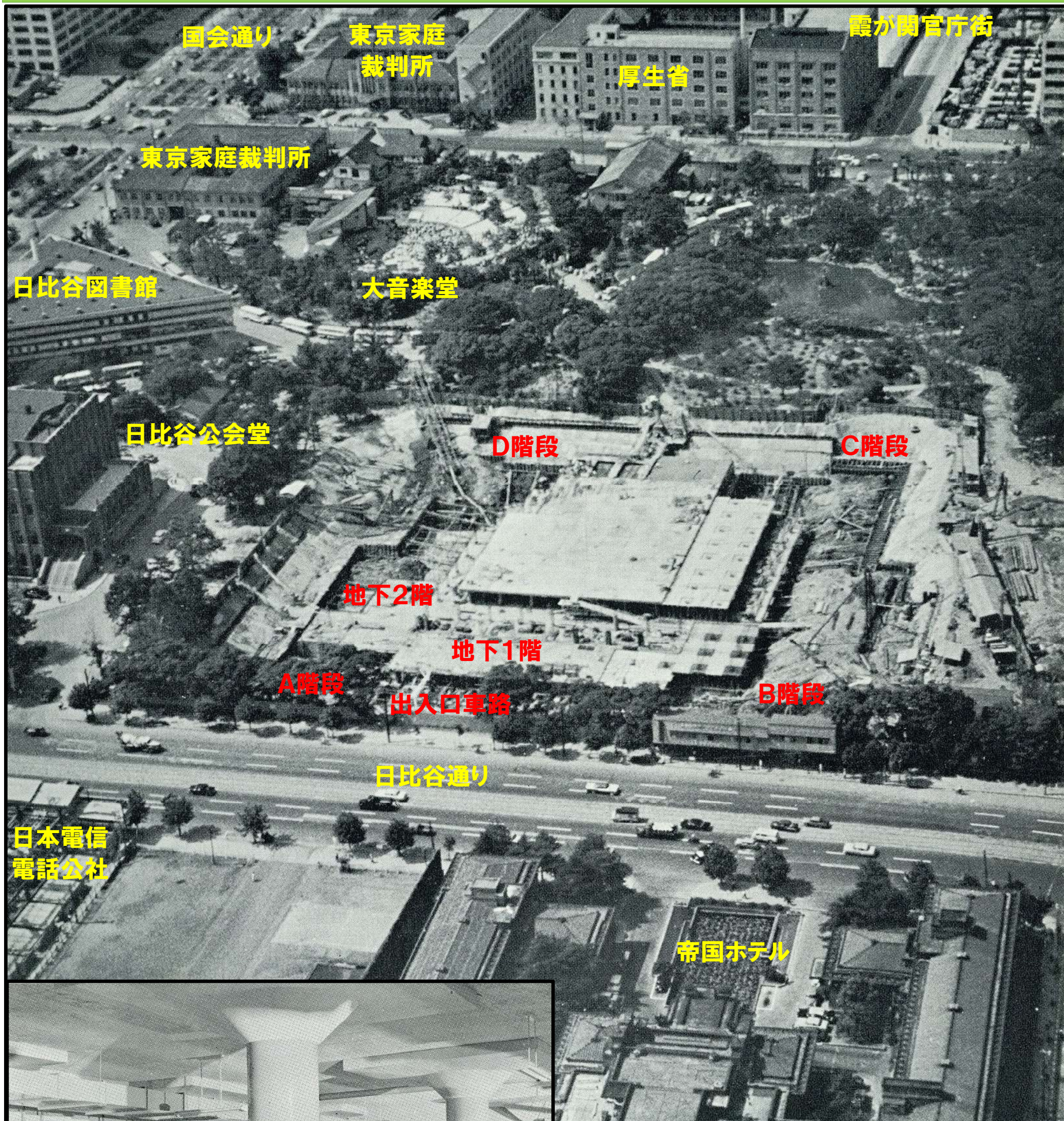
当駐車場は、1960年(昭和35年)6月4日に日比谷公園の地下にて開業以来、おかげさまで2020年(令和2年)6月4日をもちまして60周年を迎えることができました。

今後もサービス向上に鋭意努め、お客さまのご利用を心よりお待ちしております。



おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始



日比谷自動車駐車場工事状況(全景)
手前:日比谷通り・奥:霞が関

駐車場内部(完成当時)

おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始



**掘削状況(土砂運搬状況)
後方は日比谷公会堂**



躯体工事(型枠建込状況)

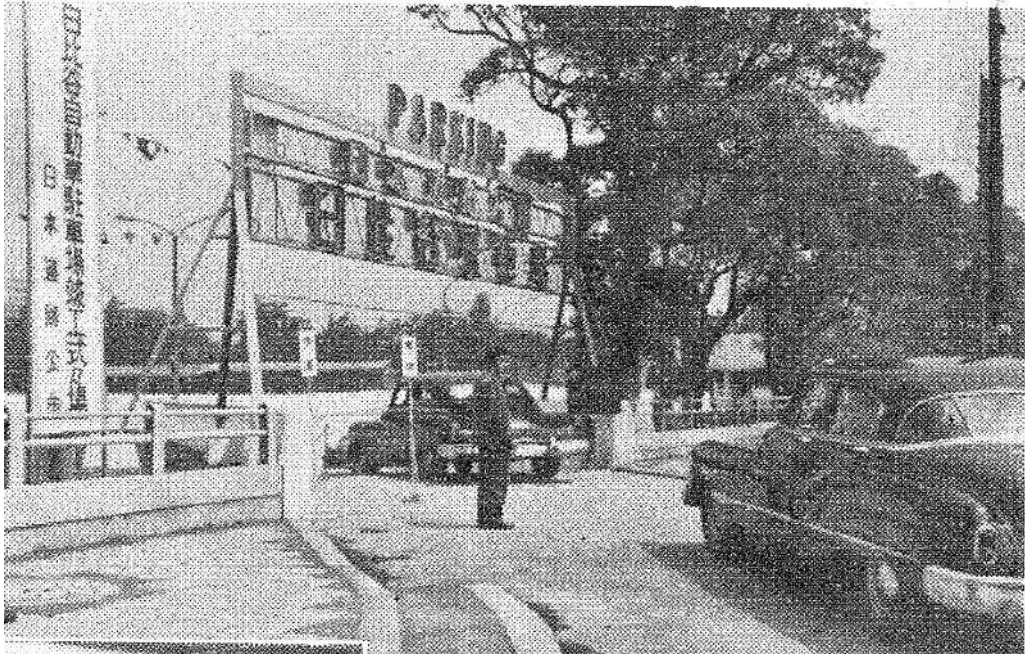
**掘削・山留工事
(シートパイル・切梁状況)**



おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始

入口ゲートの遍歴(開業時～現在まで)



1960年開業時



1979年頃



2006年頃



2010年頃



2018年



2020年(現在)

おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始

日比谷公園航空写真(営業開始時)

1963年(昭和38年)



日比谷公園航空写真(現在)

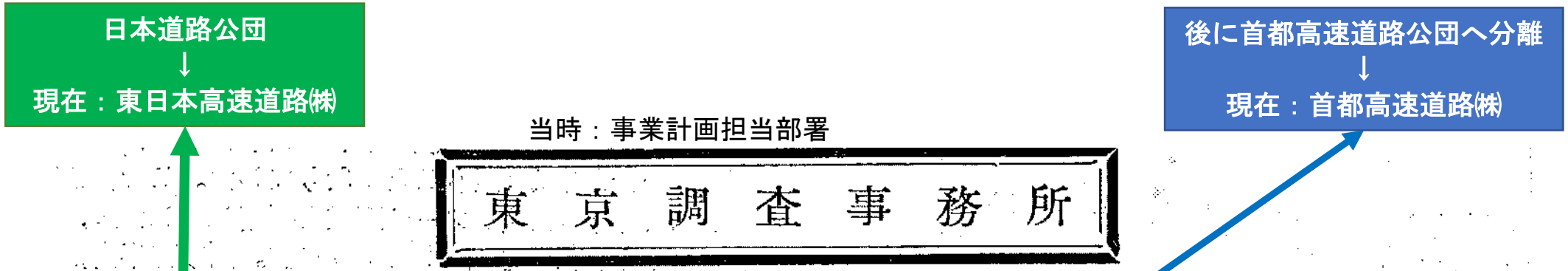
2019年(令和1年)



おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始

旧日本道路公団の社内報にて事業計画の紹介記事 (日比谷駐車場事業と首都高速道路計画が同じ事務所で担当)



日比谷駐車場

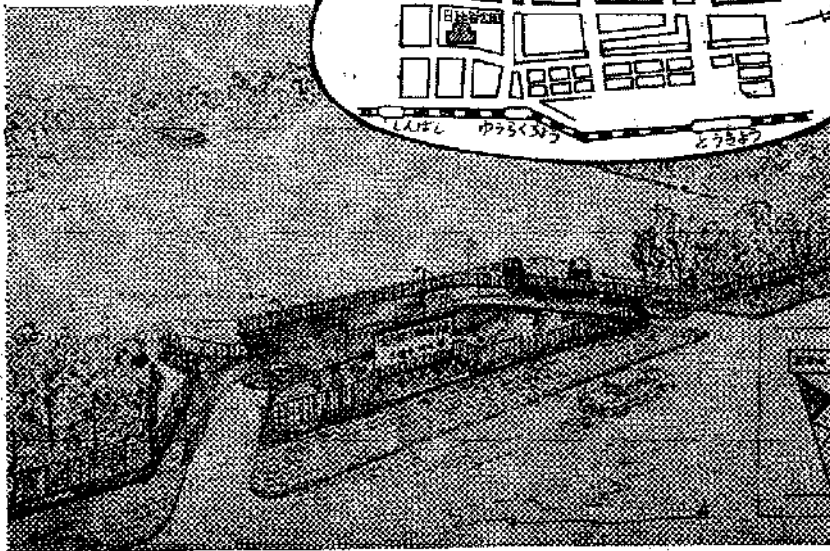
東京都市計画事業として公共駐車場が都内の中心部に3か所設置されることになり、日比谷駐車場はその一つとして計画され、昭和32年6月に道路公団に実施の認可が下り、目下設計計画が進められています。

建設位置は、日比谷公会堂北側に隣接する広場の地下で、その規模の概要は次のとおりです。

建設用地の地盤はきわめて軟弱で、最近敷地内9か所にボーリングを行った結果、地下23mくらいまでは全くの粘土層(含水率120%のシルト層)でした。建物は地下10mの深さの所に建造されるため、基礎の構造及び根伐工法等幾多の困難な問題があるので、各方面の権威による構造委員会を設置し、難問の解決に努力しました。

基本設計は12月初旬までに完了しただけに設計事務所に委託して実施設計に移り、来春3月には着工の運びとなるよう、準備をすすめています。

(右図は日比谷駐車場出入口附近の完成予想図)



都内高速道路計画

東京都内の自動車専用道路の計画は、昭和28年当時の首都建設委員会で策定され、その後、関係機関において検討が重ねられてきました。昭和32年建設省において、「東京都市高速道路に関する基本方針」が決定されましたが、それによれば、路線は、都心部と環状6号線とを結ぶ放射線とし、京葉道路、羽田、横浜を結ぶ臨海線を含み、総合的高速道路網を構成するようにすること、路線選定に当つては出来るだけ不利用地、不必要河川または運河を使用し、一般街路交通とは分離され高架又は掘

割式とすること、速度は60km/hを原則とし、4車線以上とすること等を内容としています。この方針に基づいて28路線が選定され、目下東京都市計画地方審議会の特別委員会として設けられた東京都市高速道路調査特別委員会において、この高速道路網路線の検討、決定が急がれています。

当調査事務所においては、網の決定をまつて、まずそのうちの五反田-昭和通線延長13キロの建設を行うべく、すでに何回か、交通量調査、O.D調査、輸送調査等を実施するとともに地質調査、設計等について鋭意準備中でありま

名称	構造	面積	収容台数	工費
日比谷駐車場	総地下2階建 鉄筋コンクリート造	地下1階 9,004m ²	226台	8億
		地下2階 9,700m ²	244台	
		計 18,704m ²	計 470台	

1957. 11. 25発行

日本道路公団社内報【道しるべ】より

来年3月の竣工目ざし 工事を急ぐ日比谷駐車場

駐車場課長 青木 英一

6号、7号と相次ぐ台風の襲来に、各地の工事現場はその対策に忙しい日を送り迎えた事と思われる。ここ日比谷駐車場工事現場でもその例に洩れず、歩道に市街戦さながらの土塵を積んで洪水の浸入に備えた。

日比谷周辺の洪水ぶりは前号「道しるべ」で紹介されたとおりであるが、歩道でさへ膝の近くまで没する状態なので、もしこの水がまともに工事現場に流れこんだ場合、跡始末などが大変だつたらう。それに工事進行に対する支障も大きいので一同が心配している中に、どうやら水もおさまり、ほつと安堵の胸をなで下ろした。

パーキングメーターが設置された当座、一時収つたかに見えた駐車難もそろそろ従前に戻り始めた。ビルラッシュと自動車ラッシュにかこまれた都心部でのこの駐車場工事は、関係各方面からその完成が待たれている。工事はほぼ予定の線に沿って進んでいる。他方に於て同時に計画された兄弟分ともいえる丸の内、八重洲両駐車場が、来年早々に供用開始される見通しなので、当駐車場も、来年3月の竣工予定を1日でも短縮して早く出来上るように大車輪で工事を進めている。

所定の土工事の大半以上はすでに完了し、現在では、建物周囲に打込んであるシートパイルの四隅に残された土の処理に大わらわで、30度をこす連日の暑さにうだりながらも、昼夜兼行で掘削、搬出を行つている。

ご存知のとおり、日比谷のシルト層では甚だ工事進行がむずかし

く、種々の試験、測定、観測等を重ねて慎重に計画が行われ、施工に移されている。シートパイルにかけられた切梁は100トンの荷重に耐えるように鉄骨で設計し、6mスパンにかけてある。慎重を要する帝国ホテル側電車通りに対しては同じスパンに上下2本使用し、同じく影響が最も心配されている地下鉄接近部では、3m間隔でシートパイルを2列並行に打込み、頭部を鉄骨でつなぎ、熔接して門形にして一体となるようにかためる工法によつて施工を進めている。さらにこれらの切梁には100トン用の応力計を装置して随時点検し、万一の場合の危険を未然に防止出来るようにしてある。

一方建物本体の建築工事の方は、連日の炎天にやけた

1959.9.10発行

日本道路公団社内報【道しるべ】より



建物本体のコンクリート工事【内側から外側への逆施工工法】

鉄筋や、コンクリートを相手に進められている。7月始めに建物本体のコンクリートを打ち始めてから、現在では半分近くを完了した。予定では11月にはこのコンクリート工事を完了し、ただちに各施設、設備、内装等の段階を迎えることとなる。内部にとりつけられる各設備等はそれぞれの工場で見下製作中であるのはいうまでも

ない。

近く駐車場内部の一區画に各設備をすべてとりつけて、その部分をモデルルームとし、実際に仕上げることにした。

近代建築には欠く事の出来ない色彩調節や、各部の騒音防止、あるいはまた駐車場事務、管理等の方法など直面している問題も多く、全国にさきかけて駐車場建築の範となるようにしたいと努力している。

幸にも着工してからほぼ1年、事故らしい事故もなく公団職員にも1名も事故者がなく、一同全く元気にそれぞれの分担に従つて現場に、デスクに多忙な毎日を送っているのは何よりもよるこぼしい事と思つている。

おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

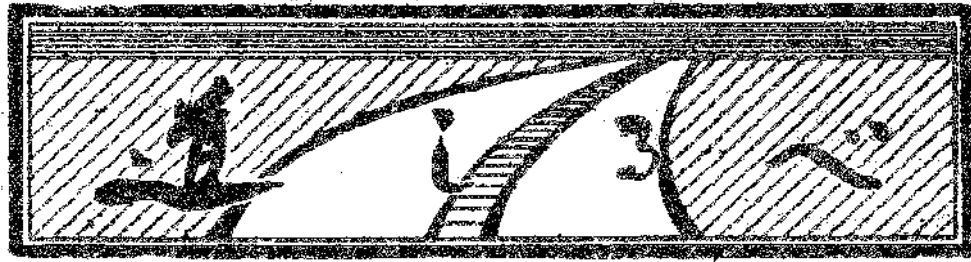
1960年(昭和35年)6月4日営業開始

旧日本道路公団の社内報にて竣工式の紹介記事
(AM・PMの2回開催)

社 内 報



第 9 1 号

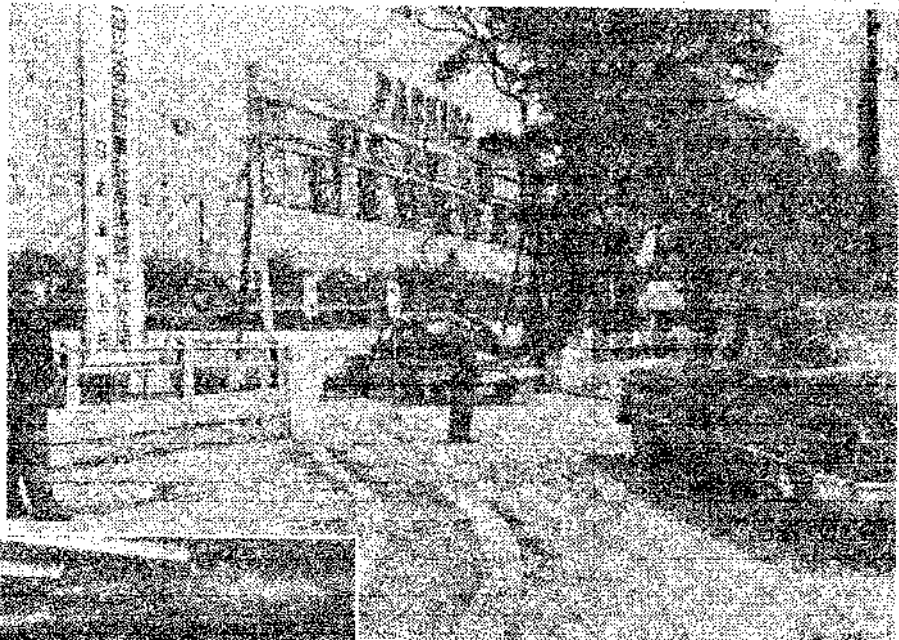


発行所
東京都港区
芝田村町1の1
日本道路公団
総裁室 広報課
電話 21401(代表)

1960年6月10日(金)



日比谷自動車駐車場
竣工式の表情

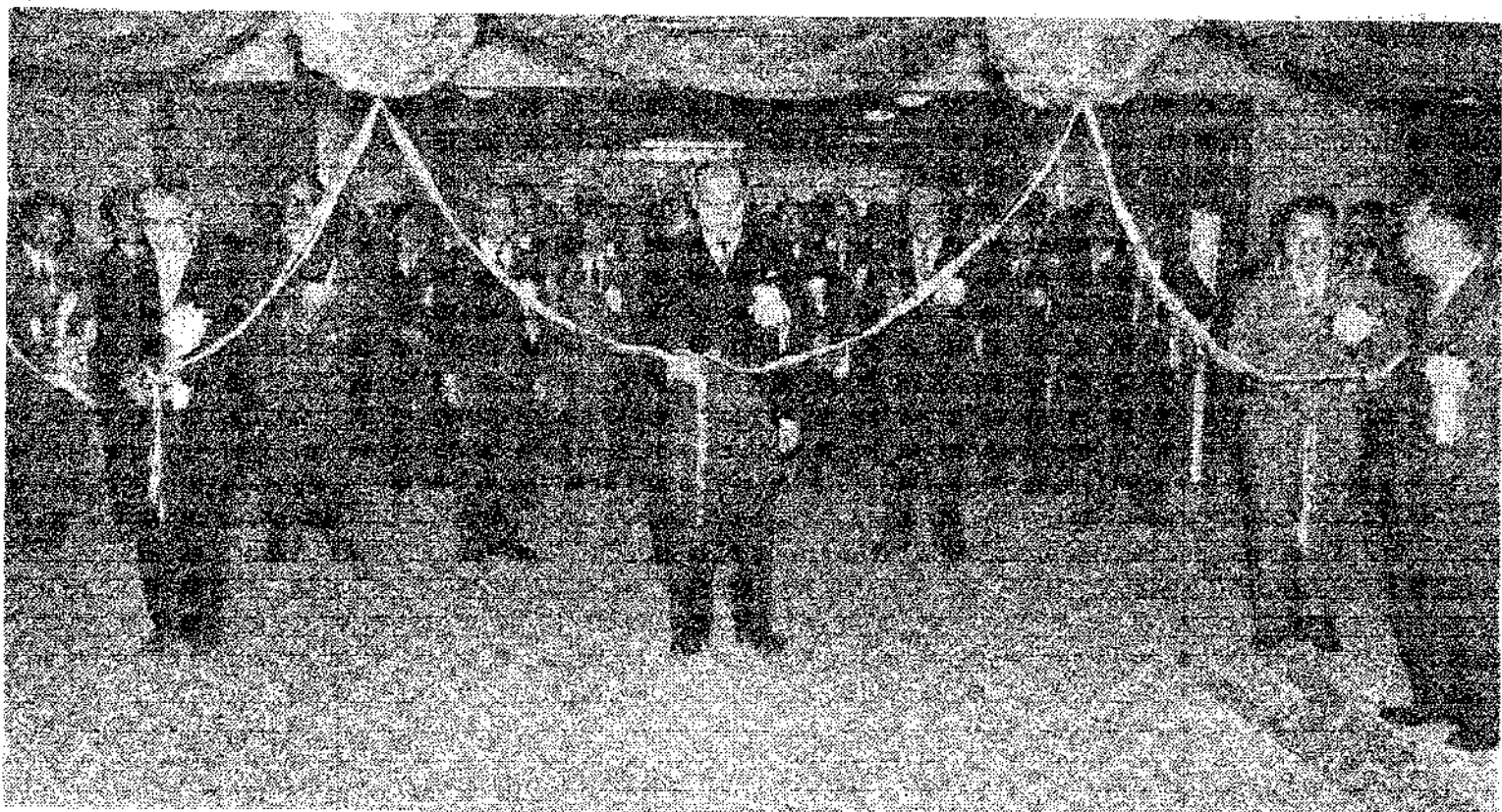


↑ 駐車場入車路から会場にむかう参列車



← 駐車場地下1階の祝賀会会場風景

↓ 開通のテープが切られる瞬間。中央総裁、左大沢建設政務次官(建設大臣代理)、右鈴木東京都副知事(都知事代理)



1960.6.10発行

日本道路公団社内報【道しるべ】より抜粋

旧日本道路公団の社内報にて竣工式の紹介記事 (AM・PMの2回開催)

日比谷自動車駐車場の竣工式

公団初の地下駐車場として日比谷自動車駐車場が6月3日誕生した。竣工式は同日午前10時、同駐車場地下1階の式場で行なわれ、引きついで祝賀会が、午前、午後の2回にわたって、千余名の来賓出席のもとに開催された。式には建設大臣(代理、大沢政務次官)はじめ、



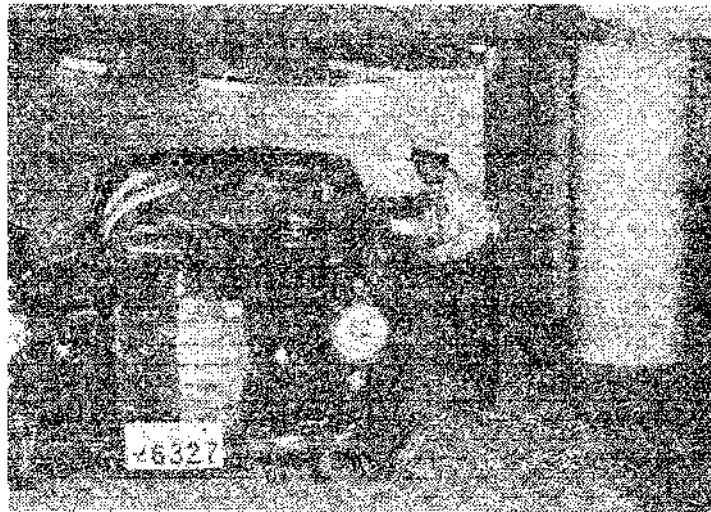
祝辞を聴く建設大臣代理 大沢建設政務次官

中村衆議院副議長、松野参議院議長、東京都知事(代理、鈴木副知事)、羽田衆院建設委員長、参院建設委員長(代理稲浦建設委員)等ほか100名余の来賓が参列、公団からは岸総裁以下関係者が出席した。総裁の式辞、中沢東京調査事務所長の工事報告のあと各来賓の祝辞が寄せられ、引きつづき入口事務所前の

車路に張られた開場テープに、総裁、大沢建設政務次官及び鈴木東京都副知事の手で式鉄が入れられ、めでたく開場となった。

このあと一同は地下1階にしつらえられた祝賀会場に臨み、総裁の挨拶、樺橋運輸大臣の祝辞があってなごやかに歓談した。午後の第二回目の祝賀会には、十河国鉄総裁、安倍学習院長、岡本太郎氏等の多数知名士が参列された。

本駐車場は地下1、2階に分れ、総面積19,878.37m²。収容台数470台で、総事業費10億4千万円をもって昭和



上はニューマティック・チューブによる駐車券の送付装置、左は入口事務所前、駐車券を授けるところ



来賓席の右から大沢建設政務次官、羽田衆院建設委員長、参院建設委員代理稲浦参院建設委員、東京都知事代理鈴木副知事、内田建設全議長、東京駐車場KK廣沢社長

33年9月着工、20か月をもつて竣工したもので、日比谷公園の風致に合わせて地上設備、出入口等も設計され、恒久的駐車場として都心部の交通混雑、駐車難の緩和に大きな役割を果たすものと期待されている。

なお建設途上における工事の苦心は多岐にわたるが、ここに2、3披露して、建設に当つた関係者の努力に感謝したい。まず設計に当つては、都内はもとより、大阪、広島等各地方都市の地下駐車場を实地に調査し、その長所短所を細に研究した。この結果は誘導標識、駐車室の色分け、壁の黒タイル張り、間仕切りのとり方、ランプの勾配のとり方等に生かされているわけである。

また建設敷地の軟弱地盤は霞ヶ浦の湖底に匹敵するといわれる位で、掘削に当ってはサンドパイル、ウエルポイント工法によってこれが克服につとめているほか、真空コンクリート工法によって防水と共に工期短縮の両面の効果をおげた。建物の周囲は二重壁にし、防水コンクリート施工とフスフルト防水無機質のフェルトを使用した。また工事現場は東京湾より低い水位のため、気象通報には絶えず注意し、気象台の長期予報課と密接な連絡をとって、少しでも大雨の危険があると、直ちに土嚢を準備して万全を期した。昨年8月12日の洪水の際等に事なきを得たのは、この細心の用意の故であった。

にて部長会議を開催した。
◆目下国鉄新幹線計画の調査団長として来日している世界銀行審査部運輸課長・バンヘルデン氏は、5月25日西下し、5月26日名神高速道路山科工事、鴨川橋、近江大橋

等の工事現場を視察した。なおバンヘルデン氏及び世銀同部のウィッチェス氏は6月2日公団を訪問し、名神高速道路の工事工程についてその後の情報を求めたが、これに対し説明を行なった。

おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。

1960年(昭和35年)6月4日営業開始

日比谷駐車場の年表(1956年～現在まで)

年齢	西暦	和暦	月日	日比谷駐車場に関する出来事	日比谷駐車場の周囲の出来事	世の中の動向及びNEXCO関係
-4	1956年	昭和31年	4月16日			日本道路公団設立
	1956年	昭和31年	7月27日	東京都市計画自動車駐車場事業の執行及び特許範囲が決定		
			8月28日		営団地下鉄丸ノ内線着工(西銀座～新宿間)	
-3	1957年	昭和32年	6月20日	建設大臣より日比谷駐車場事業の執行を特許【都市計画駐車場として日本初】		
			7月20日	東京都知事より日比谷駐車場事業の執行の特許を日本道路公団へ通知		
	1957年	昭和32年	10月4日		東京都立日比谷図書館が再建・開館	
-2	1958年	昭和33年	9月17日	日比谷自動車駐車場 着工		
	1958年	昭和33年	10月15日		営団地下鉄丸ノ内線開通(西銀座～霞ヶ間) 日比谷公園内横断	
-1	1959年	昭和34年	6月17日			首都高速道路公団設立(日本道路公団より分離独立)
	1960年	昭和35年	5月25日	日比谷自動車駐車場 しゅん功		
0	1960年	昭和35年	6月4日	日比谷自動車駐車場 営業開始		
	1960年	昭和35年	9月10日			TVのカラー本放送を開始(NHK)
1	1961年	昭和36年			日比谷公園大噴水・第二花壇(駐車場直上)が完成	
2	1962年	昭和37年	12月20日			首都高速道路初の路線開通(京橋IC～芝浦IC間)
	1963年	昭和38年	6月1日		日比谷公園 開園60周年	
3			7月16日			日本初の高速道路開通(名神高速道路 粟東IC～尼崎IC間)
4	1964年	昭和39年	10月1日			東海道新幹線開通(東京駅～新大阪駅間)
			10月10日			東京オリンピック開催
5	1965年	昭和40年	7月1日			名神高速道路全線開通
9	1969年	昭和44年	5月26日			東名高速道路全線開通
10	1970年	昭和45年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業10周年		
11	1971年	昭和46年	11月19日		過激派グループにより松本楼・日比谷花壇が放火(全焼)	
12	1972年	昭和47年	3月20日		営団地下鉄千代田線開通(大手町～霞ヶ間)	
	1973年	昭和48年	6月1日		日比谷公園 開園70周年	
13	1973年	昭和48年				第一次石油ショック
			7月31日		NHK東京放送会館が廃止(完全移転)⇒跡地は、現在の日比谷シティ	
			11月27日		都営地下鉄三田線開通(日比谷～三田間)	
19	1979年	昭和54年				第二次石油ショック
20	1980年	昭和55年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業20周年		
			11月10日			中央自動車道全線開通
	1983年	昭和58年	6月1日		日比谷公園 開園80周年	
22	1983年	昭和58年			大音楽堂と小音楽堂が建替	
25	1985年	昭和60年	10月2日			関越自動車道全線開通
27	1987年	昭和62年	9月9日			東北自動車道全線開通
	1988年	昭和63年	3月24日			常磐自動車道全線開通
28	1989年	昭和64年	1月7日			昭和天皇が崩御
	1989年	平成1年	1月8日			平成天皇が即位 元号が昭和から平成へ改元
			4月	消費税導入		消費税導入
29	1990年	平成2年	1月			バブル崩壊
30	1990年	平成2年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業30周年		
32	1992年	平成4年	11月27日			東京外環自動車道新規開通(和光IC～三郷JCT間)
	1993年	平成5年	6月1日		日比谷公園 開園90周年	
33			8月26日		台風11号災害(日比谷公園及び日比谷通りの一部・日比谷交差点が水没)	
35	1995年	平成7年	1月			阪神・淡路大震災(最大震度7)
36	1996年	平成8年	3月24日			首都圏中央連絡自動車道新規開通(青梅IC～鶴ヶ島JCT間)
37	1997年	平成9年		消費税5%引き上げ		消費税5%引き上げ
			12月18日			東京湾横断道路(東京湾アクアライン)全線開通
39	1999年	平成11年	11月			上信越自動車道全線開通
40	2000年	平成12年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業40周年		
			10月6日			鳥取県西部地震(最大震度6強)
41	2003年	平成15年	6月1日		日比谷公園 開園100周年	
44	2004年	平成16年	10月23日			新潟県中越地震(最大震度7)
45	2005年	平成17年	10月1日	日本道路公団分割民営化に伴い→NEXCO東日本名称変更		日本道路公団分割民営化→NEXCO東日本発足
48	2008年	平成20年	9月			リーマンブラザーズ経営破綻(リーマンショック)
50	2010年	平成22年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業50周年		
50	2011年	平成23年	3月11日	東日本大震災が発生(日比谷公園震度5強、最大震度7)	地震の影響で日比谷公園において帰宅難民発生	東日本大震災が発生(最大震度7・日本観測史上最大規模)
51			11月4日		千代田区立日比谷図書文化館が開館(東京都から移管)	
52	2013年	平成25年	2月1日	日比谷ライド営業開始		
53	2013年	平成25年	6月1日		日比谷公園 開園110周年	
55	2016年	平成28年			日比谷公会堂が改修工事の為に休館(開館時期は未定)	熊本地震(4月14日・16日最大震度7)
57	2018年	平成30年	9月6日			北海道胆振東部地震(最大震度7)
58	2019年	平成31年	2月1日	耐震補強工事着工		
			4月30日			平成天皇が退位
	2019年	令和1年	5月1日			皇太子徳仁親王が天皇に即位 元号が平成から令和へ改元
59			9月・10月		台風15号・台風19号が直撃(日比谷公園内の樹木の倒木が発生)	台風15号・台風19号が直撃
			10月22日	即位礼正殿の儀に伴い、日比谷通り交通規制	即位礼正殿の儀に伴い、東京都内で大規模交通規制が発生	即位礼正殿の儀
			11月10日	祝賀御列の儀の挙行に伴い、日比谷公園周辺部交通規制	祝賀御列の儀に伴い、東京都内で大規模交通規制が発生	祝賀御列の儀
	2020年	令和2年	1月31日	耐震補強工事完了		
			2月頃～			新型コロナウイルス大流行・東京オリンピック1年延期
			4月7日	新型コロナウイルス大流行の為、緊急事態宣言が発出		新型コロナウイルス大流行により1都7県に緊急事態宣言が発出
			4月16日	新型コロナウイルス感染警戒について特定警戒地域に指定		新型コロナウイルス大流行に伴う緊急事態宣言が全国を対象に拡大
60	2020年	令和2年	6月4日	日比谷自動車駐車場 開業60周年		

おかげさまで日比谷自動車駐車場は、開業60年を迎えました。
1960年(昭和35年)6月4日営業開始

HIBIYA RIDEは昔食堂として使用されていた場所を改装して誕生しました

1977~79年

2020年(現在)

券売機・ディスプレイ



受付



食堂の風景



駐輪ラック



喫茶コーナー



駐輪ラック・乾燥室

